

第6回小田原市市民活動推進委員会 会議録

- 1 日時：平成28年5月19日（木）午後1時40分～
- 2 場所：市民交流センターUMECO 会議室1・2
- 3 出席者：前田委員長、神馬副委員長、佐伯委員、益田委員、瀬戸委員、山田委員、芳川委員、竹内委員、遠藤委員
事務局：諸星部長、府川課長、村田担当副課長、小澤主査、川瀬主任
- 4 欠席者：堀池委員
- 5 資料：
 - ・次第及び委員名簿
 - ・資料1-1 おだわら市民交流センター管理運営業務実施状況（平成27年度）
 - ・資料1-2 おだわら市民交流センター平成27年度利用状況
 - ・資料2 小田原市市民活動応援補助金審査結果の公開内容の見直しについて
 - ・資料3 市民提案型協働事業・市民活動応援補助金交付事業報告会 実施要領
 - ・資料4 小田原市市民提案型協働事業応募の手引き（平成29年度実施分）
 - ・資料5 市民活動団体における活動資源に関する調査

6 会議内容

■ 委嘱状交付（竹内委員・遠藤委員）

■ 委員紹介

■ 議題（1）おだわら市民交流センターUMECOについて（資料1-1～資料1-2）

委員長：それでは、議題（1）おだわら市民交流センターUMECOについて指定管理者からご説明をお願いしたい。

（指定管理者 資料1-1～資料1-2に基づいて説明）

指定管理者：管理運営業務実施状況からご報告する。活動場所の提供は、ご承知のように会議室と活動エリア等を貸し出している。

企画展は、12月から3月まで、それぞれ月ごとに季節を意識しながら企画をしている。開催場所である多目的コーナーをUMECOの顔として位置付けているので、大勢の方に足を運んでいただけるよう展示に工夫した。特に2月は「雛の道中」で、大勢の活動団体にも協力していただき、大変賑やかにすることができた。また、松田町の桜まつりの時期だったため、松田町に協力してもらい、桜を展示し、大変賑やかに明るい雰囲気での展示ができた。3月には幼稚園、保育園の子供たちの作品展と、「小東京☆銀河とアート」では、若い芸術家の作品を展示した。

NPO予約相談では、3件の予約を受け、1月27日に神奈川県ソーシャルコーディネーターに協力いただき相談を受けた。その他の相談は受付にて随時受けており、市民活動応援補助金を受けるにはどうしたら良いか、チラシの作り方を教えて欲しいなどの相談があった。また、大井町のある団体から相談を受け、「行政が動いてくれないけど、どうしたらいいか」と言うことだったので、様々なアドバイスをしたところ、大井町との協働事業で、100万円の助成金をいただくことに成功したそうで、中間支援組織として良かったと思っている。

市民活動団体と事業者との協働事業は、シティーモールで12月にクリスマスコンサート、3月にスプリングコンサートを実施。今年度は8月20日にサマーコンサートを行う予定。これからも続けて行くが、一度も出演したことがない団体にも声をかけて行きたいと思っている。地域活動団体ネットワーク形成事業は、引き続き自治会等からご要望をいただき団体と結び付けている。

市民活動入門講座は、地域で市民活動をはじめたい方、自分の得意分野を社会のために生かしたいというシニアの方、市民活動を続けていただきたい方等を対象に「暮らしに笑いを」と題して講座を行った。

事業企画広報講座は、3月に市民活動に役立つインターネット活用講座として、インタ

ーネットの仕組みや情報検索の仕方などを学ぶ機会を設けた。

NPOマネジメント講座は、NPOとは何かという基本的な内容から専門的な内容まで行ったところ、受講者からは、「時間が足りなくらい内容が深かった」、「具体的で無駄がなく理解しやすかった」、「自分にもっと力をつけたいと思った」等、概ね良い効果が出ていると感じた。出前講座、インターンシップ受入は、12月から3月までは依頼が無かった。

まちづくりワークショップは、明治文学を読む会が来館し、こんなことをやってみたいがどうすればいいかと相談があった。「小田原の文学に関係がある団体を集めてワークショップをやろう」ということになり、UMECOが団体を集めて2回ほど検討委員会を持った。第1回を3月24日に行い、「次年度につなげよう」という声が多かったことから、今年度実行委員会を設置して具体的に検討して行く。テーマは、「色々な角度から色々見えるようにしたい」という思いで、「声の万華鏡」となった。

まちカフェは、広報広聴課との共催で、12月22日にUMECOの活動エリアで実施した。

1月22日の新春交流会は、参加者が149名と大勢の方に集まっていたが、第1部ではUMECOの魅力についてお話しし、第2部は立食パーティーで情報交換をさせていただいた。ティーサロンは、参加者の声を参考に毎月趣向を凝らして実施している。子育てほっとサロンも毎月色々なことをやっている。ホームページとUMECOだよりはご覧になっていると思うので説明は割愛する。FMおだわらは、毎週日曜日に枠をもらい団体に出演してもらっている。

施設利用状況に移る。会議室と活動エリア等の貸し出しの利用状況を報告させていただく。会議室の利用件数は、12月から3月までの4か月間の合計で1,066件、活動エリアが747件、交流エリアが2,778件、印刷室157件で合計4,748件となっている。件数に対しまして、利用人数は、12月から3月までの合計で、会議室の合計は12,185名、活動エリアは4,306名、交流エリアは4,366名、印刷室は322名、合計で21,179名となっております。交流エリアは、活動エリアが空いていない時に、交流エリアとしての使い方をさせていただくということで、実際の交流エリアだけよりも大分多い人数になっているのでご承知おきいただきたい。稼働率は12月から3月までの平均で、会議室が36.54%、活動エリアは、16.31%となっている。12月は特に全体的に少なかったが、当初の見込みで35%程度の稼働率を予想していたので、大分こちらに近づいた数字となっている。

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委員：地域活動団体ネットワーク形成事業は、各自治会の名前が入っているが、この事業は活動をそこで行うのか。

指定管理者：自治会の要望を伺い、団体を私どもで探し、コーディネートして、活動場所はそれぞれ自治会の要望のところへ団体が行って実施する流れとなっている。

委員：分かりました。

委員長：社会福祉協議会でも伝統的に福祉関係の分野を中心にボランティア活動の様々なバックアップをされていると思うが、UMECOでのボランティア活動との関係や、なければ今後それはどうしていったらいいのか伺いたい。まず、UMECOのお考えはいかがか。

指定管理者：福祉関係の団体も多いが、今まで社会福祉協議会とのつながりがなかった。UMECO登録団体と社会福祉協議会に登録している団体は重なっているところも多いので、社会福祉協議会の事業をお知らせいただくと、福祉関係の方が見えた時に、ご紹介ができる。今はそこがないので、できれば連携を取りながら進めていけるといいかと思っています。

委員：別の機会の時に、どのような活動ができるのかご相談させていただきたい。

委員長：社会福祉協議会では、ボランティアの活動をバックアップする仕組みがあるのか。

委員：UMECOで行っている地域活動団体ネットワーク形成事業をお聞きし、社会福祉協議会に登録しているボランティア、福祉施設、個人の方からご相談があった時、同様にコ

ーディネートさせていただいているので、UMECOでもこのような事業を実施していることを知れて良かった。社会福祉協議会では、ボランティアグループは、登録をして、1年位経ってから活動助成金を交付して、社会福祉協議会から色々な依頼しており、活動のプラスにしてほしいという形でのバックアップをさせていただいている。

委員長：今後ぜひ積極的に連携を図っていただければと思う。

指定管理者：ぜひそうして行きたい。

委員：UMECOの会議室は、市民活動団体と企業、地域活動団体が使っているが、その割合は分かるのか。

指定管理者：今回、割合までは出していない。2月、3月にだいぶ利用率が増えてきているというのが、市民会館の閉鎖情報が周知されてきたのと、けやきが耐震工事に入るのこちらの登録をしたいと言われている団体等が一举に来られたこともあり、サークル活動で使われている団体が多いように感じている。制約が特にないので、企業も登録しており、説明会や打ち合わせ、研修会で使われるのが増えている。活動団体でも小さい部屋、12人までの部屋が使い勝手がいいということで、ご利用いただいているが、最近予約の倍率が高くなったと言われるようになってきた。登録団体には活動エリアのAを区切って上手く活用していただくように案内し、団体も上手く活用して使っていただいている。

委員長：高校生と思われる方が、かなり使用していた。テストで早く終わるから勉強しているとのことだが、高校生があまりにもいっぱい来て、市民活動の方が入りにくいとか、使いにくいという意見は特にないか。

指定管理者：何件かそのような意見をいただいた。高校生は集団で来てしまう場合もあり、一人や二人で使っている場合には、相席をしてもらうように、極力声を掛けるようにしている。やはり市民活動団体に使っていただくことが優先なので、なるべく気を付けてはいるが、今後の課題になっている。

委員長：オープンした後、何度もお邪魔しているが、今日は多かった。しかし、せっかく高校生が施設に来ているのだから、それをきっかけに、市民活動に関心を持ってもらって色々な行事に参加してくれれば、それはプラスの効果があると思う。何かそういう例はあるか。

指定管理者：夜までやっているのだから、こういうのがあるから今度やってみてはなど、声掛けはしているが、それが実を結んでいるかは分からない。私たちも高校生に参加して欲しいと思っているので、できるだけ声掛けを多くしていきたいと思っている。

委員長：高校生が来られることをぜひ前向きに、何かつなげていただけると良いと思う。

委員長：他にいかがですか。せっかくの機会なのでぜひお願いしたい。どのようなご意見でも構わない。

委員：UMECOは使われているし、ボランティアをしている方もたくさんいると感じる。しかし、ここに近づかなかつたら、状況が分からない。こんなに色々事業があって、私も参加したいと思うのもいくつかあるが、これらの情報は、UMECO日より、ホームページ、広報の3つで周知しているのか。

指定管理者：現時点では、言われた3つが主な周知媒体になっており、UMECO日より2,000部発行している。全部が載せきれていないが、後ろの暦に月ごとの決められた行事などをできるだけ載せるようにしている。

委員：2,000部はどのように配布しているのか。また、回覧板の周知は行ったか。

指定管理者：回覧板は部数が必要で、件数も多いので難しいと考えている。UMECOよりは、公共施設やこちらで開拓した場所に置いてもらっている。また、約400の登録団体には毎号郵送している。

委員長：企画展は、月に3つから多い時は5つくらい行っていたが、何か月先まで調整をしているのか。

指定管理者：現時点で12月まで調整している。できるだけ団体の要望があったら相談を受けている。また、空いているところが出ないように調整するよう心がけている。

委員長：団体から要望が多いか。

指定管理者：多い。

委員 長：今まで、あるいは今年すでに決まっている月を含めてもいいが、全体を100とすると、何割くらいが団体からの要望で実施されているか。

指定管理者：団体からの申出からはじまるものと、私たちが企画して実施されるものが半分半分くらいである。

委員 長：委員会の関心にもつながるが、今回UMECOの機能をどのようにサポセン時代より発展させていくか考える時に、今まで以上に企業の方々の社会貢献活動をより市民の方にも知っていただき、できれば、市民活動をしている方と、企業の社会貢献事業をできるだけ上手く協力させていただければと思っている。そういう観点から、たとえば市内の企業のCSR活動の展示をやっていただくとか、UMECO側からお願いできると良いと思うがいかがか。

指定管理者：私たちもそれを考えている。新たな企画をやってみようと思案中なので、色々なことを試しながら考えて行きたい。

委員 長：小田原市内には企業も多く、様々な形の社会貢献活動をされて、担当セクションが明確になっているような企業も最近増えてきている。小田原市市民活動推進委員会が今期で7期、終わると14年となる。これまでの委員名簿は公開されていると思うが、今まで市民活動推進委員会の委員として、事業者の枠で出ていただいた方の会社名は出すことは可能か。

事務局：議事録で公開されているので、可能だと思う。

委員 長：少なくとも市民活動推進委員会に、委員として来られた方の会社だけでも、どういう社会貢献活動をやっているかということ、パネルか何かで展示していただければ、企業にもメリットがあり、企業のイメージアップにもつながる。ぜひ、ご検討いただきたい。

指定管理者：今、企業というお話がでたが、UMECOだよりの下段に企業から広告料をもらい6社掲載している。CSRにもつながると思うので、それを深く取り上げながら展示できるような企画を考えてみたいと思う。

委員 長：今まで、事故やトラブルがなかったのかということと、以前、市民会館やサポートセンターでは避難訓練が行われていたが、今後そういったことも利用者を含めながら計画しているのか。

指定管理者：これまで救急車を呼ぶ事態が発生したのは3件。うち1件はUMECO外でのことだが、駐車場のエレベーター前で倒れられた方がいた。また、飲食可能な会議室ということでお酒を召し上がった後に、ふらつとして倒れて失神された方、活動エリアを使われた方も倒れられ、救急車を呼んだという事態があった。それ以外の大きい事故は、把握している限りではなかったと考えている。また、利用者で、活動エリアから交流エリアに移動をお願いした方の中で苦情を言われた方がいた。

そのほかは、機械整備等の点検はまめに行っている。消防訓練は今のところ、1度休館日に内部だけで実施した。今後は年2回消防訓練を行う計画であり、まだ具体的な日程等は決まっていないが、利用者を巻き込んだ訓練も実施して行きたいと考えている。

委員 長：UMECOでは飲酒も可能か。

指定管理者：市民会館の会議室機能も移転しており、市民会館ではこのような使い方が可能であったため、UMECOでも可能としている。

委員 長：UMECOは、今までの3施設を合体し発展させるように創られた。市民活動推進委員会としては、サポートセンターとUMECOを比較したくなってしまうが、サポートセンターと比べると非常に良くなったように見える。サポートセンターの方が良かった点はあるか。

指定管理者：サポートセンター時代は利用者との距離が近くコミュニケーションが取りやすかったように感じる。また、UMECOは、施設予約システムで予約時間を管理して、使用してもらっているため、決められた時間を厳守してもらっている。特に、有料の会議室はサポートセンターには無かった。有料の場所をゆるやかに貸し出すことは難しく、10分前の鍵の貸し出し等、利用者の理解を得ながら運営している。活動エリアについては前が空いていれば早目にご利用いただけるようにしている。

委員：3つの機能が一緒になったことで、今までの女性プラザと国際交流ラウンジの機能が少し薄まってしまったように感じられるが、利用者から要望等は出てないか。人権・男女共同参画のパンフレットとポスター等は貼ってあるが、国際交流に関しては決まった位置があるという訳でもないように感じる。今後、運営協議会のようなものが開かれる時に、そういった話も出てくると思うが、利用者から声が上がっていたら教えていただきたい。

指定管理者：私どもの方には、直接の声はいただいてないが、女性プラザの要素として、人権・男女共同参画課とも相談し、今年度2事業を行う予定である。また、企画展の中で、DVや人権に関する展示も行うことになっている。国際交流ラウンジの要素としては、ティーサロンの中で、日中友好の団体が、中国の西安の正月を知りながら参加者間で交流できる事業を行ったり、ネパールを支援している団体がUMECOを利用していたりするので、要望があれば団体と協力しながら企画を検討したいと思う。

委員：団体はUMECOへ来て、管理者の方と上手くやっていると思うが、市の所管課がまたがっている点は今後課題になると思う。

指定管理者：国際交流ラウンジは、文化政策課が所管していた。企画展の「小東京☆銀河」は、その文化政策課から要望があり、共催の形で実施した。委員の言われるとおり、こらから色々な工夫をしながらやっていけばいけないと思っている。

委員長：最後に一つだけ要望がある。今回まとめていただいた管理運営状況だが、事業ごとに大体どの曜日が多いのかが分かりやすいように、日付の後ろに曜日を併記していただけるとありがたい。それでは本日は、大変お忙しいところ、時間をさいいただき感謝する。

■ 議題（2）市民活動応援補助金について（資料2）

委員長：それでは、議題（2）市民活動応援補助金について、事務局から説明をお願いします。
（事務局 資料2に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。念のため確認するが、委員会として今回新たに公開する内容は、現在でも情報公開の開示請求があった場合は公開する範囲ということでしょうか。

事務局：公開できる範囲の内容だと考えている。

委員長：それではこのような形で公開して行くということで、委員の皆様にはご承知おきいただきたい。

■ 議題（3）市民提案型協働事業・市民活動応援補助金交付事業報告会について（資料3）

委員長：それでは続いて、議題（3）市民提案型協働事業・市民活動応援補助金交付事業報告会について、事務局から説明をお願いします。
（事務局 資料3に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。
それぞれの委員がどこを担当するというのは決まっているか。

事務局：それは後ほど決めさせていただきたいと考えている。

委員長：当日分かるということか。

事務局：事前に資料をお送りする。その資料でご確認いただきたい。

委員長：承知した。当日は、活動エリアは全面的に使って、交流エリアは一部使う想定か。

事務局：事前に一度配置してから判断したい。資料のとおり4つのブースを設置する予定のため、聞こえにくいブースが出ないように向きなどを検討したいと思っている。

委員長：一度UMECOでやってみるということは大きい。市役所の大会議室と比較して声の響き方はどうか。

事務局：UMECOの方が響くと思う。レイアウトは前回は参考に、聞こえづらいということがないように工夫したいと考えている。事前に配置を作って試してみる。

委員長：やっているところが外から見えるというのが最大のメリットである。何かおもしろいことをやっていると感じて、覗いてくれる人が増えることを期待したい。また、普段勉強に来ている高校生にも見てほしい。

■ 議題（４）市民提案型協働事業について（資料４）

委員 長：それでは続いて、議題（４）市民提案型協働事業について、事務局から説明をお願いします。
（事務局 資料４に基づき説明）

委員 長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

次回７月１日の委員会で、新規事業についての件数報告はあるか。

事務局：その予定である。

■ 議題（５）諮問事項について（資料５）

委員 長：それでは続いて、議題（５）諮問事項について、事務局から説明をお願いします。
（事務局 資料５に基づき説明）

委員 長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

回収率５０パーセントというのは高い数値だと感じる。一般的には４０パーセント程度が目安となる社会調査の中で、私が心配したのは資金の設問である。これだけ書く欄が多いと、記載をためらう方も多いかと思っていた。

事務局：現段階は申し上げたように約５０パーセントとなっているが、遅れてご提出いただける団体もあると想定しているので、もう少し回収率が上がると思っている。なお、以前行った同様の調査では５０８団体にお送りして、２０８団体から回答をいただき、４０．９パーセントの回収率であった。今回は４０３団体にお送りして、現在約２００の団体から回答をいただいているという状態である。

委員 長：回答いただいた団体は資金について記載いただけているか。

事務局：まだ目を通せていないが、ご記入いただいている団体もあれば、団体の決算書を添付している団体もあった。

委員 長：ざっと見たところで、Ｑ４で団体の主な活動分野について、どの分野が多そうか。

事務局：そこまで見えていないのが現状だが、保健・医療・福祉や学術・文化が多そうだと感じている。

■ その他

委員 長：その他について、事務局からお願いします。

事務局：次回以降の日程調整をお願いしたい。

（候補日の説明）

委員 長：調整の結果。第８回は７月２８日（木）１４時～１６時３０分、第９回は８月２６日（金）１４時～１６時３０分、部会（提案型協働事業第一次審査）は８月５日（金）午後、部会（提案型協働事業第二次審査）は１０月３日（月）午後（予備日１０月１４日（金）午後）とする。なお、部会の時間は提案件数を見て事務局が決定する。その他何かあるか。

委員：指定管理者は昨年度のUMECOの管理運営について自己評価を行っているが、評価内容に不十分さを感じる。今後外部評価についても検討していく必要性を感じた。

委員 長：市として他施設を含めてどのように指定管理を検証していくかにかかっている。必要であれば本委員会においてもUMECOのモニタリングについて検討していきたい。また、別の話になるが、NPO法人は認証手続きの際に分野を複数選択できるようになっている。指定管理者から報告いただいたUMECO登録団体の分野は一つであったが、登録団体は分野を複数登録できるのか。

事務局：UMECOでは、登録の際に、主の分野を一つ、副の分野を一つ選べるようになっている。NPO法人認証の件は承知しているが、UMECOの登録はこの範囲で行っていただいおり、分野を増やして欲しいという声は聞いていない。

委員 長：副の分野を加えた資料を、次回以降の委員会で指定管理者からご提出いただくようお願いしたい。以上で、第６回小田原市市民活動推進委員会を終了する。